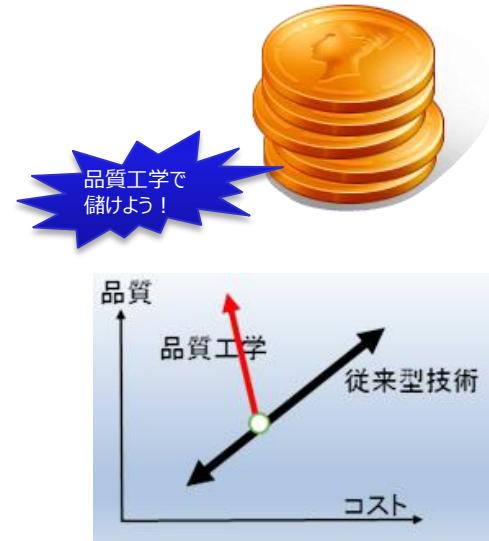


品質工学で儲けよう

～世界一の品質とコストを実現する技術者をめざして～

■研修内容

品質工学は品質管理ではありません。技術開発の道具です。「コストを下げようとすると品質が悪くなるのでコストが下がらない」などと後ろ向きになってしまいませんか。品質工学は品質を良くすることによりコストを下げます。今回の講座では品質工学の主なテーマである品質を安定化させる設計について学びます。講座は初めて品質工学を学ぶ人が対象です。二日間にわたって行いますが、初日あるいは二日目のみの参加も歓迎します。初日は考え方や手順を数式を使用せずに理解していただきます。二日目は数式を使いながらより実践に近いトレーニングを行います。まったく初めての人は一日目からの受講をお勧めします。



概要

- 日程: 2015年11月12日(木)、13日(金)
《1日のみの受講も可能です。》
- 時間: 10時～17時
- 会場: 鳥取県産業人材育成センター(倉吉校)
倉吉市福庭町二丁目1
- 定員: 15名(先着順)
※定員を超える場合、同一企業人数は調整させていただく場合があります。
- 対象者: 開発、設計、技術、品質改善の仕事をしている人
- 受講料: 2,000円(一人当たり、テキスト代含む)
《お申込み手続き》
 - ①受講者: 別添の「平成27年度鳥取県戦略産業雇用創造プロジェクト 標準高度化教育 受講申込書」に記入し、下記連絡先にfaxシミリで申し込んでください。
 - ②事務局: 受講通知を受講者様宛に、申込書に記載のメールアドレスへ送信します。
 - ③受講料: セミナー当日持参してください。
- 《キャンセルについて》
受講料受領後に、受講者様のご都合により、受講途中で出席出来なくなつた場合は、お支払いいただいた受講料の返金は致しかねますので、予めご了承下さい。
- 講習時に用意いただくもの: 筆記用具、パソコン
- 主催: 鳥取県戦略産業雇用創造プロジェクト推進協議会
《連絡先》鳥取県立産業人材育成センター(倉吉校内)
電話: 0858-27-5333 フaxシミリ: 0858-27-5334
電子メール: sangyoujinzai-center@pref.tottori.jp

プログラム

第一日(11月12日):

1. 品質工学とは
 2. ばらつき3態
 3. 疑似体験1、勘を働かせてポンプを設計しよう
 4. アルコールの最適な飲み方実験(一因子法)
 5. 品質を安定化させる設計の考え方と手順
 6. 実験の種類
 7. 疑似体験2、品質工学でポンプの設計をしよう
 8. いくつかの事例紹介
 9. 品質工学活用の方法
 - 第一日は次の用語に慣れていただきます
キーワード: 機能と機能性、誤差因子、SN比、直交表
- #### 第二日(11月13日):
- 初日の内容を深めます

実験成功のためのヒントを探ります

エクセルを用いた計算練習をします

キーワード:

 - 分散分析、利得、確認実験、交互作用
 - 2乗和、対数、
 - エクセル関数のSMSQ,SUMPRODUCT,LOG

講師プロフィール

【前田 誠(まえた まこと)】

(有)前田コンサルティング代表取締役

【略歴】

1965年京都大学理学部物理学科卒、ただちにソニー入社。トリンゴンブラウン管に関して開発、設計、品質保証、事業運営に携わる。その間に品質工学の手法を学習し実践する。2002年(有)前田コンサルティングを創業し、以降製造業など17社36事業所で品質工学を利用した技術力向上、品質向上、利益改善の支援を行う。鳥取には8年支援を継続している事業所もある。品質工学会会員、Society for Information Display 会員

